

平成28年度 学校評価（総括評価表）

重点課題	重点目標	評価指標（活動計画）
「合理的配慮」の視点に基づいた人権教育の推進	<p>【中期目標】</p> <p>学校の教育活動全体を通じて「合理的配慮」の視点に基づいた、子どもたち一人一人の安全安心を確保し自己実現をめざす人権教育を推進する。（2年間）</p> <p>・「合理的配慮」について理解を深めるとともに、教職員間で共通理解を図る。また人権意識の高揚を図る。</p> <p>・「合理的配慮」の視点で、各課業務の改善、充実を図る。</p> <p>【短期目標】</p> <p>・各課が「合理的配慮」の視点から取り組むことにより、児童生徒一人一人の障がいやニーズに応じた支援につなげる。</p> <p>・実践した内容等を中間報告としてまとめる。（1年目）</p> <p>・実践した内容等を研究紀要にまとめる。（2年目）</p>	<p>評価指標</p> <p>学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合理的配慮」や人権に関する研修会を年間3回以上開催する。 ・研究授業を年間3回以上実施する。 ・「合理的配慮」の視点で授業計画や授業改善ができたとの評価が80%以上になる。 ・実践内容を研究紀要としてまとめる。
		<p>【教務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式及び入学式について、パワーポイントのスライドによる視覚支援を行い、教員にアンケートを取り、「有効であった」との評価が70%以上になる。 <p>-----</p> <p>【研究課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動において、一人一人に応じた適切な指導や支援を行うために、活動内容・社会人講師や外部講師からのアドバイス・配慮事項などを共通の書式にてデータ化し、活用しやすいものにして情報を共有する。 ・自立活動を担当する教員の80%がデータを活用し指導に役立てる。 <p>-----</p> <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における安全安心な環境作りのための合理的配慮について検討する。 ・防災学習を年間3回以上実施する。 <p>-----</p> <p>【人権教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会後のアンケートで「理解が深まった」「人権意識が高まった」との評価が80%以上になる。 ・研究授業、授業研究会後のアンケートで「授業改善に役立つ」との評価が80%以上になる。 <p>-----</p> <p>【情報視聴覚課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の研修及び授業実践の取組において「指導力が向上した」「学習活動に役立った」との評価が80%以上になる。 ・個々のICT活用の取組を全教職員が共有し、児童生徒の学習活動を充実させる。 <p>-----</p> <p>【特別支援教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」に記載された支援の手立てについて教職員間で年間2回以上検討会を行うと共に、家庭訪問や個別懇談等で保護者と相談の機会を持つ。 ・巡回相談活動の際、合理的配慮に関する基礎的情報の資料を継続して配付し、各学校園の実情に応じた基礎的環境整備や、特別な支援を必要とする幼児児童生徒への合理的配慮に基づく取組について巡回相談活動で確認を行い、「取り組んだ」との回答を70%以上得る。
		<p>各課</p> <p>-----</p> <p>学</p> <p>-----</p> <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の向上のための研修会を実施する。また、一人一人の障がいやニーズに応じた支

重点目標	評価指標（活動計画）	評価指標（活動計画）
ICT活用教育の推進	<p>【中期目標】</p> <p>教員のICT活用指導力の向上を図り、児童生徒の学習活動を充実させる。（2年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての教員がICT活用指導力のスキルアップを図る。 ・全ての教員がICT機器を活用した学習活動に取り組む。 <p>【短期目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員一人一人がICT機器活用に関する具体的な支援方法や内容についての目標を持ち、研修や教材研究等に取り組む。 ・学校全体で、ICT活用実践事例を共有する。 	<p>評価指標</p> <p>学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用指導力向上に向けた全体研修や希望研修を年間5回実施する。 ・ICT活用に関する情報収集及び共有化を図り、児童生徒の学習活動に役立てる。 ・教員の「ICT活用に対する理解」と「ICT活用指導力」の向上について、肯定的な自己評価を80%以上得る。
		<p>各学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員全員がパソコンやタブレットPCで基本的な操作やアプリケーションソフトの操作ができるようになる。 ・児童生徒一人一人に対する授業等で、ICT活用指導計画を立て、実施する。 ・年間2回以上、事例検討会やケース会で実践報告を行い、データを共有する。
		<p>活動計画</p> <p>学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用指導力向上に向けた全体研修及び各学部の児童生徒の実態や、教員の活用状況に応じた希望研修を年間5回以上実施する。 ・前年度に引き続き児童生徒のICT活用事例を収集し、データを共有するため事例をまとめる。 ・教員一人一人のICT活用指導力を把握するために、アンケートを実施する。 <p>各学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやタブレットPCの基本操作や児童生徒に応じた、アプリケーションソフトの利用についての研修を実施する。 ・各教員が児童生徒へのICT機器の活用計画を立て「個別の指導計画」に取り入れる。 ・各教員がケース会等で一事例以上の取組を発表し、事例集の様式にまとめる。

校全体	<p>援が行えるよう，専門家からのアドバイスを 受ける機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合理的配慮」の視点で，各課業務の改善， 充実に取り組む。 ・「合理的配慮」の視点を授業計画や人権教育 年間計画に反映させる。
各課	<p>【教務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度卒業式，平成 29 年度入学式を対 象に，各学部の教職員の意見等を参考にしな がら，視覚支援のスライドを作成する。 <p>【研究課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員から項目や記入内容等についてアンケ ートをとり，活用しやすい共通書式にしてい く。 ・それぞれの教員が，共通書式を活用し情報を 共有することで，児童生徒の教育活動に生か す。 <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時を想定し，児童生徒への防災学習 を充実するために課題を解決していく。 〔災害の種類と規模に応じた複数の避難ル ートの検証と整備及び訓練の実施 校内点検作業からわかった危険箇所の棚 などの転倒，落下，移動の防止等の対策〕 <p>【人権教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒，保護者，教職員を対象とした「合 理的配慮」や人権に関する研修会を開催する。 ・各学部で「合理的配慮」を推進するための研 究授業を行う。また，授業研究会を開催し， 授業改善を図る。 ・児童生徒や保護者と「合理的配慮」について 考える機会を設ける。 <p>【情報視聴覚課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の ICT 活用指導力向上に向けた研修会 を年間 5 回以上実施する。 ・各教員がケース会等で一事例以上の取組を発 表し，事例集の様式にまとめる。 ・学期に 1 回，ホームページや学部だより等で ICT 活用の様子を保護者や地域に知らせる。 <p>【特別支援教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」に記載された支援の 手立について教職員間で検討会を行ったり， 保護者と相談の機会を持ったりしながら，「個 別の教育支援計画」の充実を図る。 ・地域の幼（保），小・中，高等学校への巡回 相談時に，特別な支援を必要とする幼児児童 生徒一人一人に対する合理的配慮の具体的な 支援方法助言を行うようにする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・学期に 1 回，ホームページや学部だより等で ICT 活用の様子を保護者や地域に知らせ る。
--	--	---

* 重点課題については平成 27 年度から 2 年間の取組です。